# PLUS

## ワイヤレス インタラクティブ パネル UPIC2-56M/UPIC2-W78M/UPIC2-W84M/ UPIC2-W72MC

# 取扱説明書



このたびは、「PLUS ワイヤレス インタラクティブ パネル」をご購入いただき 誠にありがとうございました。 製品の機能を十分にご活用いただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」をよ くお読みください。なお、お読みになった後も必ず保管してください。 本書は下記製品のワイヤレスインタラクティブパネルの共通取扱説明書で、デジタルペン、パネル、ソフトウェアからなります。

製品型名: UPIC2-56M, UPIC2-W78M, UPIC2-W84M…Mタイプ (マグネット型パネル)

(説明書では M タイプと表記します)

製品型名: UPIC2-W72MC…MC タイプ(ケース付マグネット型パネル) (説明書では MC タイプと表記します)

※ 56, W72, W78, W84 はパネルサイズの呼び名です。

M タイプと MC タイプはパネルの設置方法が異なります。お買い求めのタイプの説明 項目をご覧ください。

本製品のソフトウェアはWindows 7/8/8.1 に対応しています。他のOSでは動作しません。

#### ご注意

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCC1-B



#### 商標について

- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録 商標または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- Anoto® は Anoto Group AB の登録商標です。
- Bluetooth、Bluetooth ロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- Android、Google Play は米国 Google Inc.の米国およびその他の国における登録商標または 商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。 その他、記載されている商品名、会社名は、各社の登録商標、または、商標です。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤り、記載もれなどお 気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3) 項にかかわ らず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。



●はじめに	
安全上のご注意	4
ワイヤレスインタラクティブパネルとは	··7
	8
バネルの名称とはたらき	10
●ワイヤレスインタラクティブパネルを使うための準備	
リイヤレスインタラクティフバネルを使っ前の準備/終了の流れ	
M タイノの設直	12
ハイルの取り付け方	12
バイルの収納	10
	14
パネルの取り効1,	15
シマトッシュ シントロ	16
	16
インストールの前に	17
動作環境	17
付属のソフトウェアについて	17
ソフトウエアの更新について	17
付属ソフトウェアのインストール	18
付属ソフトウェアのアンインストール	20
デジタルペンとパソコンとのペアリング	21
Windows 8 での登録	21
	23
フロシェクタ投影画面の位置調整	25
テジダルペンのマワス動作	23
● UPIC 2 ユーティリティを使う	
UPIC 2 ユーティリティの使い方	26
ポップアップメニューを表示する	26
小ツノアツノメニュー各部の名称とはたらさ	26
ノロシェクダとの位直合わせいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	29
	21
UPIC 2 ノノトウェア 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	21
UPIC 2 ソフトウェア ケライアント版の記動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32
UPIC 2 ソフトウェア各部の名称	33
カーテン機能を使う	39
教具機能を使う	40
UPIC 2 ソフトウェアの終了	42
UPIC 2 ソフトウェア基本の使い方	43
●付録	
こんなときには	46
仕様	47
テクニカルサポート	48
アフターサービスについて	49

安全上のご注意《必ずお守りください》

## ご使用の前に

## 絵表示について

本機に付属している説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただ き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろ いろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理 解してから本文をお読みください。

・本システムで使用するプロジェクタ、パソコンおよびパソコンに接続する Bluetooth USB ア ダプタの安全上のご注意は各々の取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。



#### 絵表示の意味

表示例

		201013	
$\bigtriangleup$	この記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があ ることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容 が描かれています。	A	感電注意
$\bigcirc$	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。		分解禁止
	この記号は行為を規制したり指示する内容を告げるも のです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。	æ	電源プラグをコン セントから抜く



## 【パネル】

#### 本体パネルに磁性記録媒体を近付けない

パネルには磁気層を張り合わせており、また、四隅には磁石が埋め込まれています。キャッシュカード、定期券、フロッピーディスク、ビデオテープ、カセットテープ等の磁性記録媒体をパネル面および押さえバーやケースに近付けないでください。約10cm以内に近付けると記録データを破損する恐れがあります。

## プロジェクタについて

本システムはプロジェクタを用いて画像を投影します。プレゼンテーションなどを行う 場合、プロジェクタの光が目に入ることがあります。 プロジェクタの光を直視すると目を痛める原因となりますので、十分にご注意ください。 スクリーンを広げた直後には、剥がれないことを確認する 低温状態のスクリーンは特に強い巻き癖が残るため、スクリーンを広げた直後はホワイトボード板面などから剥がれ落下することがあります。スクリーンを広げた直後は、ホワイトボード板面などから剥がれないことを確認してください。 巻癖が強いときは付属のマグネットバーをご使用ください。詳しくは15ページ参照ください。



パネルを使用するときは、付属の安全フックを取り付ける(MC タイプ) ケースはケース背面に取り付けている磁石によりホワイトボード板面などに貼り付き

ますが、強い衝撃や振動が加わると落下する可能性があります。パネルを使用するとき は、付属の安全フックを取り付けてください。



#### 本体パネルのふちを手で触れない

パネルを設置・収納する場合は、パネルのふちで手を切らないよう、ご注意ください。

【その他】

#### 付属の CD-ROM をオーディオ用 CD プレーヤーで使用しない

付属の CD-ROM をオーディオ用 CD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。大 音量により耳に傷害を与える恐れがあります。また、スピーカを破損する恐れもありま す。

## お願い

## 【パネル】

## 設置場所について

次の場所には設置しないでください。パネルが変形して本来の機能が発揮できなくなります。

- ・直射日光が当たるような暑い場所
- ・エアコンの風が直接当る場所。
- ・熱器具やストーブの近く。
- ・油煙や湿気の当たるような場所(調理台や加湿器のそば等)。

#### パネルを傷つけない

パネルを鋭利なもの、硬いものでたたいたり、突き刺したりしないでください。また、パネルを 折り曲げたり、しわが付いたまま巻き付けないでください。デジタルペンで読み取れなかったり、 誤動作の恐れがあります。

#### パネルは薬品で拭かない

パネル表面を、シンナー、ベンジン、アルコール等で拭かないでください。変色したり、パネル を傷めデジタルペンでの読み取りができなくなったり、誤動作の恐れがあります。

#### ホワイトボードマーカーを使用するとき

必ず当社製の専用マーカーと専用イレーサーを使用してください。その他のマーカーやイレーサ ーを使用したり、直接手でこすったりするとパネルを傷つけたり、パネルが汚れインクが消えな くなることがあります。

マーカーは必ず、横向きにして保管してください。消えにくくなる場合があります。

#### ホワイトボードマーカーで直接パネルに描いた文字等を長時間放置しない

消えにくくなることがあります。

#### パネルに粘着テープ等を貼らない

デジタルペンでの入力時に読み取れなかったり、誤動作の恐れがあります。

次ページに続く

## 【その他】

## USB ハブで Bluetooth USB アダプタは使用しないでください

パソコンに USB ハブをご使用の場合は、動作の保証をいたしかねます。

## CD-ROM の取り扱い

ラベルが印刷されていない面(データ記録面)には触れないでください。記録面が汚れると正常 にデータが読み取れなくなります。また CD-ROM に紙やシールなどを貼らないでください。 長時間直射日光の当たる所や暖房機器の近くに置いたり、落としたり、曲げたりしないでください。 CD-ROM が変形しデータが読み取れなくなります。

## お手入れについて

パネルには座標検出用のドットが印刷されています。パネル表面が汚れるとデジタルペンでの入力時に読み取れなかったり、誤動作の恐れがあります。 次のお手入れを定期的に行ってください。

#### パネルの清掃

- パネルが汚れたときは、よく絞った布で水拭きしてください。清掃後パネルが完全に乾いてからお使いください。
   汚れのひどいイレーサーや、ウェットティッシュ、OA クリーナー、中性洗剤等は使用しないでください。
- パネル表面の清掃はボード面(壁面)に取り付けた状態で行ってください。床に置いて清掃すると床のほこりやゴミがパネル裏面の磁気層に付着して取り付け面との密着力が低下し落下しやすくなります。パネル裏面の清掃は押さえバーに少しずつ巻き取りながらゴミやほこりを取り除いてください。このとき、しわにならないように巻き取ってください。(Mタイプ)

## イレーサーについて

イレーサーの消去面が汚れたら、新しいイレーサーをご購入ください。 イレーサーを汚れたまま使用しますとパネル面が汚くなり、パネルの汚れが取りにくくなります。



ワイヤレスインタラクティブパネルを使うには、パソコンとプロジェクタが必要です。 パソコンとプロジェクタ、筆記具にデジタルペンADP-301<sup>\*\*1</sup>を使い、あたかもパネ ルに文字や図形を描いているように表示するシステムがワイヤレスインタラクティブパ ネルです。ワイヤレスインタラクティブパネルを使って、会議や講演・教育分野などで 効果的なプレゼンテーションができます。

\*1「デジタルペン ADP-301」を本書ではデジタルペンと略します。



【ワイヤレスインタラクティブパネル】

入/出力および画像処理・保存・印刷をパソコンで行い、パネルに描いている文字や図形はデジ タルペンに内蔵している Bluetooth という無線方式を使ってリアルタイムにパソコンへ送信し、 表示機器のプロジェクタからパネルに再投影します。

このため、パネルに直接描いているように見えます。

- ・パネルに投影しているパソコンの画像(背景)と描いた文字や図形および貼り付けた画像は背 景と合成して保存すること、ホワイトスクリーンモードに切り替えることにより背景を除いた 画像も保存することもできます。このため、保存データの再利用や配布が簡単に行えます。
- ・付属のマーカー(インク)を使用すれば通常のホワイトボードとしても利用できます。このためホワイトボードに取り付けて本システムを使用している場合は、ワイヤレスインタラクティブパネルを外さなくても通常のホワイトボードとしてご利用いただけます\*<sup>2</sup>。
- \*2マーカー(インク)で描いた文字や図形はパソコンに保存したり投影することはできません。 付属のイレーサーで消してください。
- ・別売品のデジタルペンを追加することにより、デジタルペンで交互の使用が可能となります。 また各々線の色や太さを変えて描画することもできます。

製品の梱包内容

梱包内容はご購入の製品タイプ(M、MCタイプ)によって異なります。

梱包品名	Mタイプ	MCタイプ
本体パネル:1ユニット 座標が印刷されたシート型パネルです。 M タイプ:丸めて保管や持ち運びができ		
ます。		
MCタイプ:自動巻取り方式のシート形パ ネルです。素早い設置や収納が できます。	_	0
安全フック:1個(ネジ付き) パネルユニット落下防止に使います。	_	0
(MICタイフ) デジタルペン (型名 DP-301):1 セッ		
(予備スタイラス:1本、単4 アルカリ乾       電池:1本)	0	0
<b>専用マーカー(黒・赤:各1本)</b> 本システムをホワイトボードとして使う場 合、この専用マーカー(インク)でパネル に直接描画します。	0	0
イレーサー:1個 ホワイトボードに専用マーカー(インク) で直接描いた描画を消すときに使います。	0	0
専用キャリングケース:1個 本体パネル、付属品を収納して持ち運ぶ ことができます。 ※本体パネルは、必ず紙管(紙筒)に入れ て保管してください。(Mタイプ)	0	_
補強用マグネットバー: パネルの巻き癖が残り、押さえバーが浮き 上がる場合や、パネルが浮き上がる場合に パネルの上下にマグネットバーを貼り付け てください。	4本	6本
■ <b>取扱説明書:1 冊</b> 安全に使用するために守っていただきたいこと、本製品の主な使いかた が書かれています。	0	0
次ページに続く	•	

梱包品名	Mタイプ	MCタイプ
デジタルペン取扱説明書:1部 安全に使用するために守っていただきたいこと、乾電池の入れかたなど が書かれています。	0	0
CD-ROM:1枚 ソフトウェアー式が収録されています。	0	0
保証書:1枚	0	0
FAX 登録用紙:1 枚	0	0

## 安全フックの取り付け方(MCタイプ) MCタイプのみ安全フックを付属しています。ケースのフック取り付け穴は下にもあります。 上向きの穴に安全フックを取り付けてください。 1. 安全フックをケースに取り付ける 安全フック(ワイヤー付き) フック取り付け穴に安全フックのワイ ヤーを通します。 1 3 ・ワイヤーがケースにしっかり取り付 けられていることを確認してくださ い。 2. 安全フックをホワイトボードに取 ホワイトボード り付ける ホワイトボード上面と壁面の間にある スキ間に安全フックを差し込みます。 ・ワイヤーを引っ張って、安全フック がセットされていることを確認して ください。 ホワイトボードのタイプによっては、スキ 間が無い場合やスキ間に安全フックが入ら ない、あるいはゆるい場合があります。こ のような場合は、付属のネジで安全フック をホワイトボード端部にネジ止めしてく ださい。



ドットパターンの座標が印刷されているパネルです。デジタルペンを使って描画します。プロジェクタを投影するスクリーンとしても使います。



裏全面が磁気層のシート構造になっており、市販のホワイトボード(スチール製)および 平滑面のスチール製パネルに取り付けます。 ※平滑面とは細かな凹凸がない平らな面をいいます。



#### パネル (裏)

裏全面が磁気層のシート構造になっており、市販のホワイトボード(スチール製)および平 滑面のスチール製パネルに取り付けます。また、ケースの裏面にも磁石を貼り付けています。 ※平滑面とは細かな凹凸がない平らな面をいいます。 ワイヤレスインタラクティブパネルを使う前の準備/終了の流れ

#### お知らせ

3

 ・1.2の手続きが終わっているパソコンをご使用の場合は、手順3から準備してください。
 ・UPIC 2 ソフトウェア、UPIC 2 ユーティリティは下記製品にも使用できます。 ワイヤレスインタラクティブパネル(UPIC-56M/UPIC-64M/UPIC-W72M) ワイヤレスインタラクティブパッド(UPIC Notepad) ワイヤレスポインティング&マーキングパッド(UPIC CoCo) ただし、上記製品付属のアプリケーション(UPIC Touch&Draw)で作成された TAD 形式の保存データを読み込むことはできません。

## 1 付属の CD-ROM 内のソフトウェアをパソコンにインストールする。 (16 ページ参照)

2 パソコンにデジタルペンを認識させる(ペアリング)。(21 ページ参照) ※パソコンに Bluetooth が搭載されていない場合は、市販の Bluetooth USB アダプ タが必要です。 ※複数本のデジタルペンを使う場合は、全てのデジタルペンをパソコンとペアリングし てください。

パネルを設置する。 Mタイプの設置(12ページ参照) MCタイプの設置(14ページ参照)

4. プロジェクタ投影画面をパネルに合わせる。(25 ページ参照)

**5** パソコンとプロジェクタの位置合わせをする。(29 ページ参照)

6 UPIC 2 ソフトウェア を起動する。(31 ページ参照) これで、ワイヤレスインタラクティブパネル状態になります。

## 使い終わったら

1. 本ソフトを終了する。(42ページ参照)

2. デジタルペンにキャップをする。 デジタルペンの電源が切れます。

3. ワイヤレスインタラクティブパネルを収納する。(13, 15 ページ参照)



M タイプのパネルの裏面は磁気層でいつでも付け替えできます。力を加えてもたわま ない金属面に取り付けてください。下記は参考例です。

- ・ホワイトボード(スチール製)
- ・スチール壁やスチール製パネル

## パネルの取り付け方

ホワイトボード(スチール製)を例に説明します。 2人で行うと正しく取り付けることができます。

## 1. 板面を掃除する

パネルを取り付ける前にホワイトボード板面をきれいにふき掃除をしてください。板面にごみ やセロハンテープなどの取り残しががあるとパネル面に凹凸が生じます。水拭きした場合は乾 燥するまでお待ちください。

## 2. 板面にパネルを水平に貼り付ける

巻き取っている状態のまま、ホワイトボードのフレーム(左または右辺)に正確に合わせてパ ネルの端面を密着させます。

そのまま、押さえバーを巻戻しながら左または右へ水平に(空気を抜きながら)貼り付けてい きます。貼り付けた後に空気が入っている場合は、布などで静かに掃き出してください。



#### ご注意

- ・パネルがはがれないことを確認してください。
- ・貼り直す場合は、押さえバーに巻き取ってからやり直してください。
- ・収納ケースに長期間保管した後すぐにお使いになる際は、パネルに巻き癖が残り押さえバー が浮き上がることがあります。

このときは、補強用マグネットバー(付属品:4本)をご使用ください。 ※使用方法は15ページをご覧ください。

## パネルの収納

収納の前にパネル表面をきれいに清掃してください。巻き取り時にパネル裏面にほこり やごみなどが付着して、密着力が低下する場合があります。

## 1. パネルを巻き取ります。

梱包時に使用されている紙管に押さえバーを巻き付け、押えバーをボード面に押し付けながら 巻きゆるみや斜め巻きが発生しないように巻き込みます。



ご注意

・最後までボード面に押し付ける力を弱めないでください。途中で手を放すとパネルが落下します。

 ・巻き付けるときはゆるく巻いてください。き つく巻くとパネル面に折れ目が付いたり、巻 きぐせが取れにくくなります。



・押さえバーに巻き取ったまま無理に斜め巻きを修正すると、パネルを傷つける恐れがありま す。このときは再度パネルを広げてから巻き直してください。

・パネルを広げたまま板面から取り外さないでください。パネルが折れ曲がり、デジタルペン で読み取れなかったり、誤動作の恐れがあります。

・パネルのふちを触れる場合は、手を切らないよう、ご注意ください。



MC タイプのケースとパネルの裏面は磁気層で、いつでも付け替えできます。力を加えてもたわま ない金属面に取り付けてください。下記は参考例です。 ・ホワイトボード(スチール製)

・ ホワイトホート(ステール製)

## ・スチール壁やスチール製パネル

## パネルの取り付け方

ホワイトボード(スチール製)を例に説明します。 2人で行うと正しく取り付けることができます。 落下防止のため付属の安全フックを取り付けてください。(9ページ参照)

## 1. 板面を掃除する

パネルを取り付ける前にホワイトボード板面をきれいにふき掃除をしてください。板面にごみ やセロハンテープなどの取り残しががあるとパネル面に凹凸が生じます。水拭きした場合は乾 燥するまでお待ちください。

## 2. ケースを固定する

ケースを両手でしっかりつかみ、ホワイトボードに 磁着させます。

#### ご注意

貼り付け時、不用意に手を離すとケースが落下 しけがの原因となります。



## 3. パネルを引き出す

中央のつまみをしっかり握り、スクリーンをホワイ トボード板面から離し手前側に引くようにしてゆっ くり引き出してから、貼り付けます。 貼り付け時に空気が入った場合は、一度剥がしてか ら貼り付け直してください。 パネル貼り付け時に、端部がカールして浮くことが あります。カールした箇所を上から手で軽く押し付 けると、しっかりと貼り付けることができます。巻 きぐせが強く貼りつかない場合でも、しばらく貼っ たまま放置しておくと貼りつきます。 ※カール:スクリーンの巻きぐせ



## ご注意

パネルに巻き癖が残り押さえバーが浮き上がることがあります。このときは、補強用マグ ネットバー(付属品:6本)をパネルの上辺と下辺に貼り付けてください。 補強用マグネットバーは磁力でパネルに貼り付きます。この貼り付けるとき指を挟まない ようにご注意ください。



## パネルの取り外し

## 1. パネルを収納する

中央のつまみをしっかり握り、スクリーンをホワイ トボード板面から浮かせながらケースにゆっくり収 納します。 スクリーンがケースに完全に収納されるまで、手を 離さないでください。

安全フックをホワイトボードから取り外してください。



## 2. ケースを取り外す

ケースを両手でしっかりつかみ、手前へ引いてホワ イトボード板面から外します。

#### ご注意

取り外すとき、不用意に手を離すとケースが落 下しけがの原因となります。





## 著作権・使用許諾

## ◆著作権

本ソフトウェアおよび関連著作物の著作権は、プラス株式会社(以降、弊社)が有し、 日本国著作権法及び国際条約により保護されています。

©2014 PLUS Corporation

## ◆免責・保証範囲

本ソフトウェアおよび関連ソフトウェアによる生成物が、直接または間接的に損害を生じたとしても、弊社は一切の責任を負いません。また、機器や媒体が原因の損害にたいしても、弊社は一切の責任を負いません。

さらに、弊社は本ソフトウェアを使用した結果の影響に関しても、一切の責任を負わないものとします。

## ◆使用条件および配布条件

- ・弊社は本ソフトウェアの使用または使用不能によって生じたあらゆる損害について、 いかなる責任も負いません。
- ・弊社は本ソフトウェアについてのサポート、あらゆる種類の保証、障害の修正やバー ジョンアップの継続等のいかなる義務も負いません。
- ・以上に同意する限り、非営利目的での個人利用、社内利用は自由です。
- ・ここにいう「本ソフトウェア」とは実行ファイルだけでなく、ヘルプや添付文書も含むすべての構成ファイルのことです。

## ◆サポート

質問、要望、障害報告等の声に応えたり、各種の情報提供を行うのを一括してサポート と呼ぶこととし、弊社のサポートの範囲は、本ソフトウェアの機能、操作に限らせてい ただきます。

本ソフトウェアをご利用される上で生じる問題は、パソコン本体に起因するもの、OS に起因するもの、他のアプリケーションソフトウェアに起因するもの、その他周辺機器 に起因するものなど多岐にわたります。よって弊社は、本ソフトウェアに起因する問題 のみをサポートするものとします。また、本ソフトウェアは、ハードウェアやソフトウェ アの技術的進歩により事前の予告なしにバージョンアップすることがあります。お客様 は弊社が定める方法により、本ソフトウェアのバージョンアップ品を受取り、使用する ことができます。なお、バージョンアップは上記使用条件に同意されたお客様にのみに 限られます。

※本ソフトウェアをホームページからダウンロード、または CD-ROM からインストー ルしたときをもって、お客様は各条項に同意したものとみなされます。

インストールの前に

#### ●動作環境

項目	内容
OS	Windows 7/8/8.1
PC	上記 OS が動作する IBM PC/AT 完全互換機
CPU	Core 2 以上のプロセッサ
インタフェース	BLUETOOTH 2.0 準拠 クラス 2
メモリ	2 GB 以上
ハードディスク	100 MB 以上の空き容量
表示	800 × 600 High Color 以上
	推奨:画面の色 最高(32bit)
周辺機器	Bluetooth アダプタ、CD-ROM ドライブ、標準の USB ポート
対応 Bluetooth ス	Microsoft® Bluetooth® スタック
タック	

#### ご注意

- ・本動作環境で、すべての動作を保証するものではありません。
- ・Macintosh には対応していません。
- ・Bluetooth が内蔵されていないパソコンの場合は Bluetooth USB アダプタを接続する ための空きポートが必要です。

## ●付属のソフトウェアについて

本製品には下記のソフトウェアを付属しています。詳細は、ソフトウェアのヘルプをご覧くだ さい。

#### UPIC 2ユーティリティ

デジタルペンでパソコンのマウス操作やパネルと投影画像の位置合わせを行うことができます。

#### UPIC 2ソフトウェア ホスト版

デジタルペンでパネル上に、手書きで文字を書いたり、画像や図形を挿入できる描画ソフトウェアです。UPIC 2ユーティリティと組み合わせて使用します。

#### UPIC 2ソフトウェア クライアント版

タブレットなどの端末から、ネットワーク内の他のパソコンで使用しているホスト版と画面や描画を共有し、手書き文字を書いたり、画像や図形を挿入できる描画ソフトです。 ※ Android対応クライアントソフト(対応: Android 4.0以上)はGoogle Playからダウ ンロード可能です。

## ●ソフトウェアの更新について

当社ホームページをご参照ください。

## 付属ソフトウェアのインストール

付属 CD-ROM のメニューから [ソフトウェアのインストール] を選択すると UPIC 2 ソフトウェアがインストールされます。

複数台のパソコンをネットワークに接続して UPIC を共有して使用する場合は、共有 するタブレットやパソコンにもインストールしてください。

## インストールの前のご確認

- 1. 使用するパソコンが動作条件を満たしているか確認してください。
- 2. インストールの際は、「コンピュータの管理者」の権限(アカウント)でインストールしてくだ さい。
- 3. 実行中の他のアプリケーションを全て終了してください。
- 4. UPIC 2 ソフトウェアをお使いいただくには、Microsoft .NET Framework 2.0 の機能が必要となります。Windows 8/8.1 の場合は、コンピューター上にこの機能がインストールされていないか無効になっていることを検知すると自動的にダイアログを表示してお知らせしますので、下記の要領でこの機能をインストールして機能の有効化を行ってください。

#### ● .NET Framework 3.5(.NET 2.0およびおよび3.0を含む)有効化の手順

※本作業を行う際は、インターネット接続環境が必要です。

- コントロールパネル→プログラムと機 能→「Windowsの機能の有効化また は無効化」を選択し、Windowsの機 能の有効化または無効化のチェックボ ックスにチェックを入れます。
- 画面表示に従い、Windows Updateから必要なファイルをダウン ロードして、インストールを完了させ ます。
- パソコンを再起動してからUPIC 2ソ フトウェアのインストールを開始して ください。



- 1 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入します。 自動的にメニュー画面が表示されます。 自動で表示されない場合は、CD-ROMを開き「autorun.exe」をダブルクリックしてください。
- **2 「ソフトウェアのインストール」をクリックする。** インストーラが立ち上がります。
- 3 インストーラの指示に従ってインストー ルを行います。 「UPIC 2ユーティリティ」と「UPIC 2ソフトウェア」 が同時にインストールされます。

#### お知らせ

※ ユーザーアカウント制御ダイアログが表示され ます。「はい (Y)」を選択してインストールを続 けてください。



## ▲ 「完了」をクリックします。

「インストーラ情報ダイアログ」が表示されます。

「はい(Y)」をクリックし、パソコンを再起動してく ださい。 これで、インストールが終わりました。

続けて、デジタルペンとパソコンとのペアリング操作を行ってください。(21ページ参照)



## 付属ソフトウェアのアンインストール

【スタート】→【コントロールパネル】をクリックするとコントロールパネル画面が表示されます。

・デジタルペンにキャップをして電源が切れていることを確認してください。 ・UPIC 2 ソフトウェアが終了していることを確認してください。

**2** 「プログラムまたはアプリケーション(OS によって異なります)の追加 と削除」ダブルクリックします。

「プログラムの追加と削除のプロパティ」画面が表示されます。

- **3 一覧表示の中から PLUS UPIC 2 を選択し [削除] をクリックします**。 追加と削除ウイザード画面が表示されます。
- **4** ウイザードの [削除] のラジオボタンを選択し [次へ] をクリックします。 アンインストールが開始しされます。

お知らせ

※ アンインストーラを起動する度にユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。「続行」を選択してアンインストールを続けてください。



デジタルペンはBluetoothデバイス(装置)です。パソコンがデジタルペンを認識しないと相互の通信ができません。

ここでは、Windows搭載のBluetoothスタックを使ったペアリング\*を説明します。 \*デジタルペンとパソコンを無線通信で接続する操作がペアリングです。説明書では接続と呼ぶこともあります。

#### ご注意

- ·複数の Bluetooth デバイスを使用した場合、動作が不安定になることがあります。
- ・Bluetooth 内蔵のパソコンを使用する場合は、市販の Bluetooth アダプタを使用しないで ください。使用する際は、内蔵 Bluetooth を停止させてください。停止方法はパソコンメー カへお問い合わせください。
- · デジタルペンは同時接続できますが、ご使用の環境 (パソコン / 電波状況等) により操作できない場合があります。

パソコンに Bluetooth デバイスが内蔵されていない場合は、市販の Bluetooth USB アダプタを お使いください。なお、アダプタ付属のドライバ・ユーテリティーなどはインストールしないで ください。

また、ペアリングはお買い求めの Bluetooth USB アダプタの取扱説明書をご覧ください。この とき、デジタルペンのパスコード(またはペアリングコード)は、「0000」を入力してください。

#### お知らせ

デジタルペンと接続可能な Bluetooth USB アダプタ(別売)については弊社ホームページを ご覧ください。

なお、HID (Human Interface Device) のプロファイルをサポートしている Bluetooth USB アダプタをお使いください。

## Windows 8 での登録

Modern UI(タッチ操作)とデスクトップで共通の操作です。 ここでは、指だけで操作する場合で説明します。マウスでも操作可能です。

準備: Bluetooth(パソコン内蔵または市販のUSBアダプタ)が機能する状態にします。



次ページに続く

2 [設定]→[PC 設定の変更]→[デバイ ス]の順にタップする。



3 デジタルペンのキャップを外す。 デジタルペンの電源が入り、インジケータが点滅します。



4 [デバイスの追加]をタップする。 検索を開始し、「ADP-301B」を検出するとパス コード入力画面を表示します。





**5** パスコード「0000」を入力してから、 「次へ(N)」をタップする。



## 6 デジタルペンにキャップを付ける

デジタルペンの電源が切れます。

複数本のデジタルペンを登録する場合はこの手順を繰り返します。なお、このときのパスコードは、「0000」を入力してください。

これで、デジタルペンのキャップを外すと自動でパソコンと接続し、ペン入力待ち状態になります。

## Windows 7 での登録

準備: 1. Bluetooth(パソコン内蔵または市販のUSBアダプタ)が機能する状態にします。
 2. デジタルペンのキャップを外します。電源が入りインジケータが点滅します。



[閉じる (C)]ボタンをクリックする。 5



#### 6 デジタルペンにキャップを付ける。

デジタルペンの電源が切れます。

複数本のデジタルペンを登録する場合はこの手順を繰り返します。なお、このときのペアリ ングコードは、「0000」を入力してください。

これで、デジタルペンのキャップを外すと自動でパソコンと接続し、ペン入力待ち状態にな ります。

プロジェクタ投影画面の位置調整

- 1, パソコンとプロジェクタとを接続しパソコン画面をパネルに投射してください。 投射方法はプロジェクタの取扱説明書をご覧ください。
- 2. プロジェクタの投影画面の位置や大きさ、画面のひずみを調整する。

パネルに収まる位置に設置合わせし、画面が歪んでいる場合はプロジェクタの台形補正機能(垂直/水平)を使って正しく調整してください。

・UPIC 2 ソフトウェアにはパネルと投影画面との位置合わせ機能があります。投影画面が歪んでいると正しく位置合わせを行うことができなくなります。



デジタルペンのマウス動作

## カーソルの移動

デジタルペンを少し浮かせて移動すると、パソコン画面上のカーソルが移動します。

## クリック

デジタルペンを1回タッチします。

## ダブルクリック

デジタルペンを2回連続でタッチします。

## 右クリック

デジタルペンを長押し(右クリックメニューを表示するまで)します。

## ドラッグ

デジタルペンのペン先をタッチしたまま、ペンを移動します。



長くタッチ

KW

検索(E)...

エクスプローラ(X)

少し浮かせて移動

1 回タッチ

2回タッチ



## ポップアップメニューを表示する

UPIC 2 ユーティリティを起動する。 パソコン画面タスクトレイのUPIC 2 ユーティリ ティ 「アイコンをクリックするとポップアップメ ニューを表示します。 表示していない場合は、[スタート] → [すべての プログラム] → [PLUS UPIC2] → [UPIC2 ユ ーティリティ] をマウスでクリックすると表示(起 動)します。



※乾電池の残量を、UPIC 2 ユーティリティのアイコンで表示します。

・ ・ 電池残量低下
 ・ ※ 電池残量なし

「お知らせ」

ご使用中にデジタルペンのスイッチを指で押したりすると、電池残量の警告信号を誤検 出することがあります。



## ポップアップメニュー各部の名称とはたらき

ポインタ

クリックするとチェックが入り、バーチャルレーザポインタ(VLP)\* を表示します。終了するにはもう一度ポップアップメニューを表示させ、 クリックしてチェックを外します。

- \* 設定画面のタブにはバーチャルレーザーポインタを VLP と略して表 記しています。
- ・ドラッグするとポインタが移動し、タッチアップするとポインタは消 えます。
- ・ポインタの形状や種類の選択は [設定] → [VLP] タブ→ [ポインタ] で行います。

- スポットライト
   クリックするとチェックが入り、スポットライトを表示します。終了するにはもう一度ポップアップメニューを表示させ、クリックしてチェックを外します。
  - ・ドラッグするとスポットライトの位置が移動し、タッチアップすると スポットライトは消えます。
  - ・スポットライトの形状や大きさなどの選択は[設定]→[VLP]タブ
     → [スポットライト]で行います。
- 位置合わせ/キャンセル クリックすると、位置合わせパターンを表示します。位置合わせの方法 は 29 ページをご覧ください。
- 毎回位置合わせ クリックするとチェックが入り、デジタルペンの接続を検出すると位置 合わせパターンを表示します。(初期設定:オン)
- 設定 設定画面を開きます。機器設定、VLP、コマンド登録のタブをクリックすると目的の 画面に変わります。機器設定で「UPIC のみを使用する」を選んだときは「コマンド登録」 は表示されません。

段定
[場話版定] VLP   コマンド版称
<ul> <li>モード</li> <li>() ビビア Neugad/ColeER#75</li> <li>() ビビア Neugad/ColeER#75</li> <li>() ロジャングのためため#75</li> </ul>
₹_588 ₹/071/1
OK         *#>打比         須用

#### 【機器設定画面】

モード: どれか1つが選択できます。クリックするとラジオボタンにチェック
 が入ります。

「パネルのみを使用する」… パネルのみ使用する場合に選択します。

「UPIC Notepad/CoCo を使用する」…別売の UPIC Notepad のみ使用 する場合に選択します。

「両方使用する」………… パネルと別売の UPIC Notepad または CoCo を同時に使用する場合に選択します。

- モニタ選択:プロジェクタまたはディスプレイに接続されているモニタ番号の選択 画面を表示します。初期設定は「ディスプレイ 1」で検索します。
- OKボタン: 設定メニューを閉じ、変更内容を保存します。
- キャンセルボタン:変更内容を保存しないで設定メニューを閉じます。
- 適用ボタン: 設定内容を変更したとき選択できます。設定メニューを開いた まま、変更内容を保存します。

#### 【VLP画面】

VLP(バーチャルレーザーポインタ)にはポインタとスポットライトの設定があります。



ポインタの設定

形状:ポインタの形状を選択します。

種類 :ポインタの種類を選択します。

常時オン:描画エリアからデジタルペンを離したときの表示設定です。 チェックを入れる(オン)…ポインタを表示します。 チェックを外す(オフ)…ポインタは消えます。(初期設定)

スポットライトの設定

- 形状: スポットライトの形状を選択します。(初期設定:丸)
- プレビュー: 選択・設定状態を表示する画面です。幅と高さを確認しながら調整します。
- 透過率: スポットライトの周囲の透過率(どのぐらい見えるようにするか)を 調整します。

#### 【コマンド登録画面】

別売のUPIC Notepad使用時に使います。あらかじめコマンドを登録しておくとワ ンタッチで登録内容の操作が行えます。UPIC Notepadの取扱説明書をご覧ください。

ヘルプ	UPIC 2 ユーティリティのヘルプを表示します。
終了	UPIC 2 ユーティリティを終了します。 終了すると、デジタルペンは使用できなくなります。

## プロジェクタとの位置合わせ

パネルの読み取り位置とパソコン画面の位置を合わせるのが位置合わせ調整です。位置 がずれていると描いた文字などがずれて投影されます。

#### ご注意

・プロジェクタの投影画面はパネルに収まる位置に位置合わせしてください。(29ページ参照)
 ・プロジェクタ側の入力選択は接続しているパソコンを選択してください。

・デジタルペンはキャップを外した状態で約7分間使用しないと、自動的にデジタルペンの電源が切れます。使用するときは、一度キャップをデジタルペンにはめてから、再びキャップを外してください。

## **1** デジタルペンのキャップを外します。

デジタルペンのインジケータが点滅しているときは、パソコンとのペアリング(接続)ができていません。(21ページ参照) パソコンがデジタルペンとの接続を検出すると ワイヤレスインタラクティブパネルに位置合わ せパターンが表示され、左上のパターンが点滅します。

 表示されない場合は、UPIC 2 ユーティリティのポップアップメニューの位置合わせを 実行してください。



## **2** パソコンとプロジェクタの位置合わせ をします。

点滅しているパターンを順にデジタルペンを使 用して十字パターンの中心に正しくタッチして ください。四隅のタッチが終了するとパターン が消えます。

・タッチするごとに点滅が左上→左下→右下→
 右上の順に変わりタッチ済みのパターンはグレイに変わります。

#### これで、位置合わせは終了しました。

- ・やり直しするには、キーボードの [R] キーを 押してください。点滅が先頭に戻ります。
- ・キャンセルするには、キーボードの [Esc]
   キーを押してください。位置合わせを保存しないで終了します。



## VLP を使う

パソコンの投影画面に VLP(バーチャルレーザーポインタ)表示して効果的なプレゼ ンテーションが行えます。VLP にはポインタとスポットライトがあり形状などが選択 できます。(28 ページ参照)





【スポットライトの例】

※説明のためポインタのアイコンを大きく表記しています。

1 UPIC 2 ユーティリティの圏アイコンをク リックしてポップアップメニューを表示さ せ、[ポインタ] または [スポットライト] をクリックする。







# 3 ポインタの表示をやめる。 描画エリアの外をクリックまたはドラッグするとポインタ表示は終了します。 ※ポインタ表示中に手順1の操作をし、ポップアップメニューを表示させて、[ポインタ]または[スポットライト]をクリックしてもポインタ表示は終了します。





プロジェクターを接続しているパソコン(主催者側)はホスト版を起動します。 プロジェクターを接続していないパソコン(参加者側)はクライアント版を起動します。

## UPIC 2 ソフトウェア ホスト版の起動

## UPIC 2 ソフトウェア ホスト版を起動します。

ホスト版の起動は3つの方法があります。

- ・パソコンの  $[スタート] \rightarrow [すべてのプログラム]$ →  $[PLUS UPIC2] \rightarrow [UPIC2 ソフトウェア$ ホスト版] をクリックすると立ち上がります。







#### お知らせ

・デジタルペンとの接続ができない場合は「デジタルペンを検出できませんでした。アプリケーションを終了します。」のメッセージ画面を表示します。
 [OK]をクリックしてメッセージを閉じます。
 デジタルペンを接続してから、もう一度UPIC 2 ソフトウェアホスト版を起動してください。21ページ「デジタルペンとパソコンとのペアリング」をご覧ください。



## UPIC2 ソフトウェア クライアント版の起動

ホスト(主催者)になるパソコンとクライアント(参加者)になるパソコンが各々同一ネットワーク(有線 LAN や無線 LAN(Wi-Fi))に接続していることを確認してください。

## ホスト側パソコンの操作

## 1 UPIC 2 ソフトウェア ホスト版で共有 設定を開始します。

 ホストになるパソコンを操作してツールバー の共有アイコンをクリックし、共有設定画面 を表示させます。



共有設定

共有設定

停止

停止

共有名 UPIC2-Computer1

共有名 UPIC2-Computer1

開始

- (2) 共有を識別するための名称を入力します。 共有名の使用可能文字は半角英数字と"-(ハ イフン)"、最大文字数は32文字です。 ・デフォルトはUPIC2-"コンピュータ名"
- を表示します。 (3)「開始」ボタンをクリックします。
  - 共有名を保存し共有設定画面を閉じます。

## クライアント側パソコンの操作

## **2** UPIC 2 ソフトウェア クライアント版 を起動します。

クライアント版の起動方法は2つです。

- ・「スタート」→「すべてのプログラム」→「PLUS UPIC2」→「UPIC2 ソフトウェア クライアン ト版」をクリックすると立ち上がります。
- ・Windowsデスクトップにある「クライアント版」の

  図アイコンをダブルクリックすると立ち上が
  ります。

クライアント版が起動すると接続先一覧画面が表 示されます。

# 3 共有するホストパソコンの共有名を選択し、「接続」をクリックします。

ホストの描画データの共有が開始されクライアン ト版の操作が可能になります。

・接続先一覧にホストの共有名が表示されていな い時はクライアント版を使用することはできま せん。









## UPIC 2 ソフトウェア各部の名称

起動するとツールバーを表示します。ツールバーの詳しい使い方やUPIC2 ソフトウェアの各機能の選択や設定は、UPIC 2ソフトウェアのヘルプをご覧ください。 ツールバーのUPIC 2ソフトウエア クライアント版は利用できる機能が制限されます(以下 ホスト版、クライアント版と略します)。



【ホスト版:横配置のツールバー】



<sup>【</sup>クライアント版:横配置のツールバー】

## ● ホスト版とクライアント版の機能比較

「〇」は対応、「一」は非対応を示します。

	機能	ツール	ノバー			機能	ツール	バー
アイコン	名称	ホスト版	クライア ント版		アイコン	名称	ホスト版	クライア ント版
	マウス	0	—		<b>7</b>	背景編集	0	_
1	ペン 1	0	0		-	カーテン	0	0
12	ペン2	0	0		•	ポインタ	0	0
	マーカー	0	0		5	元に戻す	0	0
	消しゴム	0	0		C	やり直す	0	0
	図形	0	$\bigcirc$		٠	ダブルクリック予約	0	
	オブジェクト選択	0	$\bigcirc$			右クリック予約	0	
	表示モード	0	0			保存	0	—
	サイズ設定	0	0			開く	0	_
	色設定	0	0		REC	録画 / 停止	0	
Q	ズーム	0	0			印刷	0	
1	消去	0	0		4	ページ戻し	0	0
	図の挿入	0	0		$\Rightarrow$	ページ送り	0	0
	蟚 画像ファイル	0	0		1/1	ページ番号(サム	0	0
	🔕 カメラ	0	0	-	00	ネイルメニュー) 位置合わせ		
	うイブラリ	0	0		• •		0	
	(系材·肖贡·教具)	-	-			六行		

※ その他「メニュー配置・メニュー移動・ヘルプ・最小化・閉じる」もホスト版とクライアント版 で機能します。 クリックするごとにツールバーを横配置・縦配置に切り替えます。

1 配置

お好みの位置へドラッグして移動します。

※「マウス」「ペン 1」「ペン 2」「マーカー」「消しゴム」「図形」「オブジェクト選択」は、いず れか 1 つが選択できます。複数の選択はできません。この 7 つの機能を入力モードと呼びます。

<u>ک</u> وک	<ul> <li>入力モードをマウスモードに切り替えます。</li> <li>パネルに投影されているパソコン画面の操作が行えます。</li> <li>・マウスモードのときは、ツールバーで選択できないボタンがあります。</li> <li>・Windows 操作は「マウス」のときのみ操作できます。</li> <li>・デジタルペンによるマウス動作は 25 ページをご覧ください。</li> </ul>
/1 ペン 1	入力モードを「ペン 1」に切り替えます。
✓2 ペン2	入力モードを「ペン 2」に切り替えます。
🥒 マーカー	入力モードを「マーカー」に切り替えます。

💙 消しゴム スカモードを「消しゴム」に切り替えます。

・デジタルペンで描いた文字や線の一部分を消す場合に使います。ドラッグすると消えます。オブジェクト単位で消去する場合は「オブジェクト編集」の編集メニュー(マウス右クリック)の[削除]を使います。
 ・図形と画像は消すことができません。

🛃 図形

「図形メニュー」画面を表示します。 目的の図形アイコンをクリックし、デジタルペンをドラッグして図形を 描きます。

・「図形メニュー」画面を閉じるには、ツールバーの [図形] をクリッ クします。図形メニュー以外をクリックしても閉じます。

1	2	З	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
111	_		-	-	+	-	+	-	_	-		~	
			-1	/	→I	/	⇔Į	~		O	Δ	Q	$\mathbf{O}$

1	図形メニューの移動:ツールバーを最	4	図形を水平、垂直線に設定(初期値)
	小化しているときにドラッグして移動	5	図形を直線に設定
	できます。	6	図形を垂直水平矢印に設定
2	線種の選択:クリックするごとに 点線	7	図形を矢印に設定
	→一点鎖線→実線 とくり返す。(初期	8	図形を垂直水平両矢印に設定
	値:実線)	9	図形を両矢印に設定
З	塗りつぶしの選択:クリックするごとに	10	図形を四角に設定
	塗りつぶし有り→塗りつぶしなし をく	11	図形を楕円に設定
	り返す。(初期値:塗りつぶしなし)	12	図形を正三角形に設定
		13	図形を正五角形に設定
		14	図形を正六角形に設定

**オブジェクト選択** 入力モードを「オブジェクト選択」に切り替えます。

オブジェクトをクリックして選択し移動、拡大/縮小、回転などを行い ます。手書きの文字や描画はドラッグして選択します。

水平ポイント	オブジェクトを左右方向に拡大/縮小	回転ポイント ――
垂直ポイント	オブジェクトを上下方向に拡大/縮小	
等比ポイント	オブジェクトを等比で拡大/縮小	☆ ポート
回転ポイント	オブジェクトを回転させる	垂直ポイント ―

表示モード
 [表示モード]をクリックするごとに「ホワイトスクリーン」「透明スクリーン」が切り替わります。
 「透明スクリーン」モード時 : 背景にパソコン画面が表示されます。
 他のアプリケーションを表示して、デジタルペンで追記することができます。
 「ホワイトスクリーン」モード時 : 背景が罫線の入った白画面になります。
 サイズ設定

- 色設定
  「色設定メニュー」画面を表示します。現在の入力モード(ペン1・ペン2・ マーカー・図形)の色選択です。

Q ズーム

描画エリアの指定範囲を拡大表示します。 拡大したい範囲をドラッグで指定します。

- バラッグして移動させます。
- ドラックして指定範囲を拡大します。ディスプレイの中央を中心
   にして拡大します。

ドラックして指定範囲を縮小(元の大きさまで)します。ディス プレイの中央を中心にして縮小します。



ズームを終了しズームメニューを閉じます。  $\otimes$ 

🕋 消去

「消去メニュー」画面を表示します。消去後は閉じます。

※キャンセルする場合は、メニュー以外のところをクリックしてください。「消去メニュー」が閉じます。
手書きクリア:デジタルペンで描いた文字・線がクリアされます。

すべてクリア:アンダルベンで抽りた文子・緑かクリアされます。





「図の挿入メニュー」画面を表示します。画像ファイル、カメラデバイス、 ライブラリの画像の挿入を行うことができます。



■ 画像挿入を行います。クリックすると「ファイルを開く | 画面を 画家押へとコリンより。 表示します。挿入できる画像は JPEG, BMP, PNG, TIFF, GIF, WMF 形式が挿入できます。(44 ページ参照)

|「カメラ画像の取り込み| 画面を表示します。UVC(USB ◎ 「カメラ画 ® の なっとの」 ーー --- Video Class V1.0) に対応したカメラデバイスを使用すること ができます。

※描画エリアより画像が大きい場合は、自動で縦横比を維持した まま縮小します。

ライブラリ挿入を行います。クリックすると「ファイルを開く」 つイ ノノリザハ(2) リッ・シューム
 直面でライブラリフォルダを表示します。ライブラリフォルダに
 は教具、素材、背景フォルダがあります。 目的のフォルダからファイルを選択してください。 ※教具フォルダには各種の定規ファイルがあります。使い方は 40ページをご覧ください。



背景に画像を入れたり、移動・拡大 / 縮小・回転ができます。 背景は、表示モードがホワイトスクリーンの場合のみ、表示されます。 「ファイルを開く」画面を表示します。挿入できる画像は JPEG. BMP. PNG. TIFF. GIF. WMF 形式が挿入できます。

※「画像のストレッチ」にチェックを入れると、画像を画面サイ ズに合わせて表示します。

※背景編集に切り替えると、使用できない機能はアイコンがグ レー表示になります。

クリックするごとにカーテンの表示と非表示を切り替えます。 **カーテン** 4 辺中央(上下左右)にある1 つのタブをドラックして画面を隠すとき に使います。(39ページ参照)

、 ポインタ ポインタ:ポインタの表示機能を入/切します。 描画エリアをタッチするとポインタを表示し、そのままドラッグすると ポインタが移動します。タッチアップするとポインタは消えます。

描画または編集した内容を直前の操作から順に最大100回まで戻しま 元に戻す(Undo) す。

- 🔁 やり直し(Redo) 「元に戻す」で戻した操作を順に再び実行します。
- ダブルクリック ボタンクリック後の次のペンタッチで、マウスのダブルクリックと同じ 動作をします。

隆 右クリック ボタンクリック後の次のペンタッチで、マウスの右クリックと同じ動作 をします。 描画モード時に右クリックをするとポップアップメニューを開きます。

オブジェクト選択時

削除	
<i></i> ታット	
⊐Ľ−	
オートコピー	
最前面へ移動	
最背面へ移動	
前面へ移動	
背面へ移動	

オブシ	<b>ジェクト非選</b> 掛	尺時
	貼付け	

💾 保存

Windows の「名前を付けて保存」画面を表示します。描画エリアのデー タを保存します。(45 ページ参照) ファイルの種類は「.jpg(JPEG 形式)」「.bmp(BMP 形式)」「.png(PNG 形式)」「.tif(TIFF 形式)」「.upic(独自形式)」が選択できます。 ファイル名は「UPIC\_年月日\_時分秒.xxx」を自動入力されます(xxx はファイル形式の拡張子)。

- ※ .upic(独自形式)は複数ページの描画データをまとめて一つのファ イルとして保存します。[開く]で開いて本ソフトで編集ができます。
- ※ 独自形式以外の形式で保存した場合は、現在表示しているページが 画像として保存されます。
- ※「.jpg」「.bmp」「.png」「.tif」は画像データとして他のアプリケーションに取り込みが可能です。

Windowsの「ファイルを開く」画面を表示します。保存している本ソフトで作成したファイル(.upic)を開きます。



「録画」をクリックすると「停止」に変わり、描画や操作を記録します。 「停止」をクリックすると自動保存されます。

 ※ フォルダは「ドキュメント /UPIC2/Video」に保存され、ファイル 名は「Video\_年月日\_時分秒 .upv」を自動入力されます。
 ※ 保存されたフィルをダブルクリックすると専用プレーヤーで再生します。

📥 印刷

Windowsの「印刷」画面を開きます。 印刷画面で必要項目を選択します。Windowsの説明書をご覧ください。 [表示モード] が透明スクリーンの場合はWindowsの画面背景と、描 画エリアのデータを合成して印刷します。 ホワイトスクリーンの場合は描画エリアのデータを印刷します。

ページ戻し 1 つ前のページを表示します。1 ページのときは動作しません。

ページ送り 1 つ次のページを表示します。次にページがないときは新規ページを作 成して表示します。

> ※ 透明モードの時は、新規ページを作成する際に背景画面をキャプチャして現在のページの背景画像として保存します。 また同時に、背景で開いている一番大きなアプリケーションウィンドウにページダウンコマンドを発行します。 これにより、プレゼンテーション資料などに書き込みを行いながら 資料ページ送ることができます。

#### 次ページに続く

1/1 ページ番号

現在のページ番号を表示します。 クリックするとページのサムネイルバーを表示します。



①クリックするごとにサムネイルバーを横配置・縦配置に切り替えます。
 ②サムネイルバーを移動します。
 ③表示しているページの次に新規ページを作成します。
 ④表示しているページを複製します。
 ⑤表示しているページを削除します。
 ⑥各ページのサムネイルを表示します。
 ⑦サムネイルバーを閉じます。
 ⑧指定されたページを1ページ前に移動します。
 ⑨指定されたページを1ページ後ろに移動します。
 ⑩ドラッグしてサムネイルバーのサイズ(長さ)を可変します。

- 共有
   共有設定画面を表示します。(32ページ参照)
   ホストの描画データ共有の開始 / 停止と、共有名の設定を行います。
   「開始」をクリックすると共有を開始します。
   ・共有名の使用可能文字は半角英数字と "- (ハイフン)"、最大文字数は 32 文字です。
   共有を止める場合は「停止」をクリックします。
- **? ヘルプ** ヘルプを表示します。
- よい化
   ッールバーを非表示にします。タスクバーのアイコンをクリックすると
   元の状態で表示されます。



カーテンを引き出して描画エリアを一時的におおい隠す場合に使います。



- トウェアを終了すると破棄されます。
- マウスモード時はカーテンが表示されません。

## 教具機能を使う

直定規、三角定規、分度器画像を[図の挿入]-[ライブラリ]の教具フォルダから挿入 して使うことができます。

## 教具を挿入します。

- ツールバーの[図の挿入]をクリックすると、
   図の挿入サブメニューを表示します。
- 2) [ライブラリ]をクリックすると、「ファイ ルを開く」画面を表示します。
- 3) ライブラリの中の教具フォルダを選択し、目的の教具ファイル(三角定規A、三角定規B、定規、分度器)をクリックして[開く]をクリックすると「ファイルを開く」画面を閉じて、描画エリアの中央に教具が配置されます。 ※複数の教具を配置することができます。





## **2** 教具を操作します。

図形を描きたい所、測定したい所へ移動、回転、拡 大ができます。教具は常に一番前に表示されます。 ※教具の操作はペンや図形の入力状態で行うことが できます。

- 教具の青色部分をドラッグして回転させます。 操作の順序はありません。 他の教具操作は次ページをご覧ください。
- 2)教具の青色と緑色以外の箇所をドラッグします。

例) 三角定規 A





3)教具の緑色部分を水平方向ヘドラッグします。
 2)の操作で目的の場所へ教具をドラッグし、
 教具に合わせた図形の描画や測定などにご使用いただけます。



- 移動……教具の青色と緑色以外の所をドラックします。
- 回転……青色部分を回転しながらドラックします。
- 縮小 / 拡大……緑色部分をドラックします。



3 教具を削除します。 教具の上で右クリックすると削除のポップアップメニューを表示します。[削除]をクリックすると、削除してメニューを閉じます。 教具以外の所をクリックすると、ポップアップメニューを閉じます。

## UPIC 2 ソフトウェアの終了

## 1 UPIC 2 ソフトウェア画面のツール バーの ∑ [閉じる]をクリックします。 パネルの投影画面で操作する場合は、ツールバーの ∑ [閉じる] をクリックしてください。





## **2** UPIC 2 ソフトウェアを終了し、 「終了確認」画面を表示します。

ホスト版の場合、未保存データがない場合とある 場合で画面の表示が異なります。 クライアント版の場合は未保存データがない場 合と同様です。

#### 未保存データがない場合:

[はい] UPIC 2 ソフトウェアを終了します。 [いいえ] 終了をキャンセルします。

#### 未保存データがある場合:

- [はい] Windowsの「名前を付けて保存」画 面を表示します(45ページ参照)。保 存終了後にUPIC 2 ソフトウェアを終 了します。
- [いいえ] 保存しないで UPIC 2 ソフトウェアを 終了します。

[キャンセル] 終了をキャンセルします。





## **3** デジタルペンにキャップをします。

UPIC 2 ソフトウェア基本の使い方

UPIC 2 ソフトウェアの基本的な使い方を説明しています。詳しい内容はツールバーの 2 ヘルプをクリックしてください。

基本の使い方は、位置合わせが終り、UPIC 2 ソフトウェアが立ち上がっている状態からの説明です。本ソフトをまだ立ち上げていない場合は 31 ページ「UPIC 2 ソフトウェアの起動/終了」をご覧ください。

例:ホスト版のソフトウェアで説明しています。クライアント版は一部の機能が使用できません。(33ページ参照)
 表示を透明クリーンにしてプレゼンテーションを行います。
 操作はワイヤレスインタラクティブパネルに投影されている画面で行います。



## 2 Windows を操作してプレゼン テーション資料を画面一杯に表示 する。

ツールバーの (マウス) をクリックして目的のプレゼンテーションファイルを 開きます。





ツールバーの ✓ [マーカー]をクリックし、 デジタルペンで文字を書きます。 マーカーの色を変えるときは [色設定]、 線の太さを変えるときは [サイズ設定] をクリックして選択します。



## ▲ 説明用の画像を挿入します。

この画像はあらかじめ準備しています。

- ツールバーの 
   [図の挿入] をクリックして、
   「図の挿入メニュー」画面の「ファイルを開く」
   アイコンをクリックすると「ファイルを開く」
   画面を表示します。
- 2)目的のファイルを選択し[開く]をクリック すると「ファイルを開く」画面を閉じて、描 画エリアの中央に画像が配置されます。



	ファイルを聞く			×		
7+150場所()	🕌 Masok	v	G 🕫 🔛 🔟 -			
Øx	□ 8#	· ·	更新日時	機能	サイズ	
RESTLART	UP3C2		2014/11/10 15:38	ファイル フォルダー		
77.0197						
) 94790						
R R						
<b>A</b>						
2012-7	77(1):6(因)				< R000	
	7rf160種類① 全ての亜体(JPEQ/HQ,DMP,TEF,QF,MMF) v		~ KYCHA	·		
		<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>	連続で開く			

3) ツールバーの [オブジェクト選択] をクリックした後、画像をクリックす るとフレームを表示します。フレーム 内をドラッグして目的の位置まで移動 し、画像の大きさを調整します。



## 5 線を引きます

- ツールバーの <sup>■</sup> [図形]をクリックして、 「図形メニュー」画面の / [直線] アイ コンをクリックします。
- 2) このままドラッグすると書き始めの位 置を起点とした直線を引きます。
- 線の太さを変える場合は、
   して線の太さ(ピクセル)を選択してください。
- 3) 続いて文字を書く場合は、ツールバー の / 「ペン 1」、 / 「ペン 2」、 / [マー カー]をクリックして、文字を書きます。



## 6 資料の次のページを表示してプレゼン テーションを続ける

- ツールバーの 
   ・ [ページ送り]をクリックします。
   資料の1ページ目と描画データが本ソフトウェアの1ページ目として保存されます。
   同時に資料の2ページ目を表示して新規ページが作成されます。
- 2) 1ページ目と同様の操作で描画を行います。
   現在のページの次に新規ページが作成されます。
  - ※ ツールバーの 2/2 [ページ番号]をク リックしてサムネイルバーを表示させると、 ページの管理が簡単に行えます。
  - ※ 資料のページを送りながら新規ページを作 成するには、透明モードで最後のページか らツールバーの → [ページ送り]をクリッ クします。







## 7 描画エリアのデータを保存する

- ツールバーの □ [保存] をクリックすると「名 前を付けて保存」画面を表示します。
- 2)「保存する場所」を選択し、ファイルの種類を 選択します。

 ・UPIC (UPIC 形式)は、[開く]で開いて本 ソフトで描画エリアのデータの編集ができ ます(UPIC は本ソフト独自のファイル形式 です)。

ファイル名は「UPIC\_年月日\_時分秒 .xxx」を自動入力されます (xxx はファイ ル形式の拡張子)。

例)UPIC\_20141208\_154739.upic

 「.jpg」「.bmp」「.png」「.tif」は描画エリア とWindows 画面を合成した画像になりま す。画像データとして他のアプリケーショ ンに取り込みが可能です。

「.jpg」「.bmp」「.png」「.tif」の保存は現在 表示されているページのみ保存されます。

- ・本ソフト終了後パソコンで分かりやすいフ アイル名に変更することをお勧めします。
- 3) [保存] をクリックします。

## 8 プレゼンテーションを終了する

● 42ページ「UPIC 2ソフトウェアの終了」をご 覧ください。







## デジタルペン関係

状 態	ご確認ください
デジタルペンのインジケータ が点灯 / 点滅しない	<ul> <li>デジタルペンに乾電池は入っていますか?</li> <li>乾電池が消耗していませんか?</li> <li>乾電池の極性(+と-の向き)間違えて入れていませんか?</li> </ul>
デジタルペンのインジケータ が 0.2 秒点灯 /3 秒消灯	<ul> <li>デバイス(装置)との接続、またはデジタルペンとのペアリングが完了していません。デジタルペンとパソコンとのペアリングを行ってください。</li> </ul>
デジタルペンを認識しない(ペ アリングができない)	<ul> <li>・他のパソコンと既にペアリングを行っていませんか?</li> <li>・Bluetooth USB アダプタ又は Bluetooth 内蔵のパソコン 本体側の機能が停止していませんか?</li> <li>・乾電池が消耗していませんか?</li> </ul>
デジタルペンを認識したが描 画できない	<ul> <li>パネル面垂直に対してデジタルペンを 45 度以上倒して使用 していませんか?</li> <li>パネル表面に粘着テープ等を貼っていませんか?</li> <li>スタイラスが消耗していませんか?</li> </ul>
複数本のデジタルペンで同時 に書き込めない	<ul> <li>複数本の使用は、同時には描けません。</li> <li>他の人が書き終わってから書いてください。</li> </ul>
デジタルペンの長押しでマウ スの右クリック機能が動作し ない	<ul> <li>パソコンの「マウスのプロパティ」の「クリックロックをオンにする」が選択(チェック)されていませんか?</li> <li>※パソコンから[スタート]→[コントロールパネル]→[プリンタとその他のハードウェア]の[マウス]にあります。</li> </ul>

## パネル関係

状態	ご確認ください
マーカーで描いたものが消え	<ul> <li>パネルに描いた文字等を長時間放置していませんか?</li> </ul>
にくい	<ul> <li>・専用マーカー以外のマーカーを使用していませんか?</li> </ul>
	<ul><li>シンナー、ベンジン等で拭いていませんか?</li></ul>
パネルの密着力が弱い	<ul> <li>水を含ませた布で、押えバー裏側のマグネット部および裏面</li> <li>(磁気層)のゴミや汚れを拭き取ってください。</li> </ul>
パネルの巻き癖が残る	・補強用マグネットバー(付属品:Mタイプは4本、MCタイプ は6本)をパネルの四隅に貼り付けてください。



Mタイプ(マグネット型パネル)仕様				
製品型名	UPIC2-56M	UPIC2-W78M	UPIC2-W84M	
設置方式		マグネットシートタイプ		
外形寸法	1160W×11.3D×865H*1	1760W×11.3D×995H*1	1880W×11.3D×1070H*1	
質量(ペン、付属品除く)	約 1.6kg	約 2.8kg	約 3.3kg	
MCタイプ(マグネット型パ	ネル巻き上げ式)仕様			
製品型名	UPIC2-W72MC			
設置方式	マグネットシートタイプ			
外形寸法	1675W × 48D × 1052	2H*1		
質量(ペン、付属品除く)	2.7kg			
共通仕様				
パネル				
サイズ (mm)	1130W × 845H	1730W × 975H	1850W × 1050H	
	MC タイプ: 1600W × 9	970H		
読取方式	アノトペンによるアノトパ	ターン読取方式*2*3		
デジ <u>タルペン*2*3</u>				
機種名 <sup>※4</sup>	ADP-301(型式名:DP-301)			
電源	単4アルカリ電池1本(1	.5V)		
インターフェース	BLUETOOTH2.0 準拠 2	クラス 2 * 5		
本体質量	約 40g(電池含む)			
動作時間	連続筆記時 約6時間、スタ	ンバイ状態で約150時間	(キャップをはずした状態)	
使用条件				
温度	10°C~40°C			
湿度	30~85% (無結露状態	30~85% (無結露状態)		
機能				
インタラクティブモード	ホワイトスクリーンモード	、透明スクリーンモード、	マウスモード、	
	ファンクション(ペン色(	8 色) / フェルトペン色(8	3 色) / マーカー色(8 色)	
	/消しゴム/ペン、マーカー、消しゴムのサイズ切替/図形の挿入/ページ内容			
	の削除/画面モード切替/印刷/ファイルの入出力)			
ホワイトボード	マーカー書込み			
付属ソフトウェア動作環境				
対応 OS	Windows 7/8/8.1 *6			
対応 PC 機種	上記 OS が動作する IBM PC/AT 完全互換機			
CPU	1GHz 以上のプロセッサ*®	6		
メモリ	2GB 以上			
ハードディスク	100MB 以上の空き容量			
ディスプレイ解像度	800 × 600 ピクセル以上	-、High Color 以上		
デバイス	Bluetooth アダプタ*7、F	PC 標準の USB ポート、CI	D-ROM ドライブ	
対応 Bluetooth スタック	Microsoft <sup>®</sup> Bluetooth <sup>®</sup> 2	スタック		

※ 1: 最大突起部を含む。

※ 2: デジタルペンによる描画にはパソコンおよびプロジェクタが必要です。
 ※ 3: 動作原理等の詳細は http://www.anoto.co.jp/ をご覧下さい。

※ 4: 機種は予告なく変更になることがあります。

※ 5: Bluetooth が内蔵されていないパソコンにデジタルペンを接続するには、別途 Bluetooth アダプタが必要です。

※ 6: 本動作環境で、すべての動作を保証するものではありません。

※ 7: Bluetooth USB アダプタは付属しておりません。

● デジタルペンは別売品により単体で購入いただけます。 詳細は、当社ホームページをご参照ください。但し、 複数本のデジタルペンによる同時書き込みはできません。

## ●テクニカルサポート

製品およびソフトウェア等の問題が解決できない場合は、「ビジョンカスタマーセンタ ー」までお問い合わせください。

## TEL 20 0120-944-086 FAX 20 0120-331-859

受付時間:月~金 9:00~12:00 13:00~17:30 (土・日・祝日、年末年始および当社指定の休日を除く)

## サポートについて

質問、要望、障害報告等の声に応えたり、各種の情報提供を行うのを一括してサポートと呼ぶこととし、弊社のサポートの範囲は、本ソフトウェアの機能、操作に限らせていただきます。

本ソフトウェアをご利用される上で生じる問題は、パソコン本体に起因するもの、 OSに起因するもの、他のアプリケーションソフトウェアに起因するもの、その他 周辺機器に起因するものなど多岐にわたります。よって弊社は、本ソフトウェアに 起因する問題のみをサポートするものとします。また、本ソフトウェアは、ハードウェ アやソフトウェアの技術的進歩により事前の予告なしにバージョンアップすること があります。お客様は弊社が定める方法により、本ソフトウェアのバージョンアッ プ品を受取り、使用することができます。なお、バージョンアップは上記使用条件 に同意されたお客様にのみに限られます。

※本ソフトウェアをホームページからダウンロード、または CD-ROM からインス トールしたときをもって、お客様は各条項に同意したものとみなされます。 お手持ちの製品が故障した場合は、次の要領で修理させていただきます。お近くの弊社営業所・ 販売会社・取扱い店、もしくは「ビジョンカスタマーセンター」にお申し出ください。なお、 保証内容、使い方など不明な点につきましても、お近くの弊社営業所・販売会社・取扱い店、 もしくは「ビジョンカスタマーセンター」にお問い合わせください。

## ●無料修理

故障した製品についてはご購入年月日、販売店名の記入された保証書(ご購入日より 1 年以内) が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲で、無料修理させていただき ます。

※詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

アフターサービスについて

## ●有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内にあっても、下記のような 場合はすべて有料となります。また、運賃諸掛りは、お客様にご負担願います。

- 1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
- 2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または字句が書き換えられている場合。
- 3. 弊社または取扱店以外で分解、改造されたもの。
- 4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
- 5. お取扱い上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛り、砂・泥の付着、機内部へ の水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、樟脳の入った場所での保 管)、お手入れの不備(かび発生)により生じた故障。
- 6. 上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により生じた故障。
- 7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

## 修理不能

浸(冠)水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、 および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの弊社営業所・ 販売会社・取扱い店、もしくは「ビジョンカスタマーセンター」にお問い合わせください。

## ●修理ご依頼に際してのご注意

- 1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
- 2. ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
- 3. 修理箇所のご指定がないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての 箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
- 4. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故をさけるため、修理品から取りはずしてお手元に 保管してください。
- 5. 修理のために輸送する場合は、購入時の外箱か同等の箱に入れてしっかり包装してください。

## ●修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造中止後5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則と してお引受けいたします。なお、部品保有期間が終了している場合は、お近くの弊社営業所・ |販売会社・取扱い店、もしくは「ビジョンカスタマーセンター| にお問い合わせください。

## 本製品に関するお問い合わせ:ビジョンカスタマーセンター

## TEL 00 0120-944-086 FAX 00 0120-331-859

※携帯電話・PHS からもご利用いただけます。

受付時間:月~金9:00~12:00 13:00~17:30 (土・日・祝日、年末年始および当社指定の休日を除く)

## PLUS Corporation プラス株式会社

本製品に関するお問い合わせ ビジョンカスタマーセンター TEL 0000120-944-086 FAX 0000120-331-859

ISO 14001 認証取得

©2014 PLUS Corporation